

こんにちは!

村立東海病院 であ



小児予防接種の移り変わり

近年、子どもたちが受ける予防接種の種類が増えています。任意接種のワクチンが定期接種となったり、海外で実績のある新しいワクチンが導入されたりしています。たった数年でも兄弟姉妹で予防接種の方法が全く違い、驚いたり、戸惑ったりした方もいるのではないのでしょうか。今回は、小児予防接種の移り変わりについてご紹介します。

20年前の 小児予防接種は…

注射回数(標準)
乳児期:4回
幼児期:6回
学童期:3回

20年ほど前の定期接種のワクチンといえば、DPT三種混合、DT二種混合、BCG、麻疹、日本脳炎、ポリオに加え、男女共に風疹の定期接種ができるようになりました。標準的には、注射回数は乳児期に4回、幼児期に6回、学童期に3回でした。ツベルクリンやBCG、経口のポリオワクチンは集団接種のところが多く、私自身も保健センターで接種を受けました。このころは、予防接種のために医療機関を受診するのは、1歳前に3回、1歳から3歳までに3回、3歳から4歳までに2回、4歳で1回くらいだったため、今と比べるとのんびりした時代でした。

この子ももうすぐ、
ワクチンデビュー…
そろそろ、予防接種の
スケジュールを考えない!



現在の 小児予防接種は…

注射回数(標準)
乳児期:13回
幼児期:10回
学童期:2回

現在では、ヒブ、肺炎球菌、水痘、B型肝炎、子宮頸がんが加わりました。積極的接種勧奨が差し控えられている子宮頸がんを除いても、注射回数は乳児期に13回、幼児期に10回、学童期に2回となっており、乳児期を中心にとっても増えています。これに伴い、接種方法が変更になったものもあります。例えば、ポリオは2回の経口から4回の注射として、DPT三種混合に混ぜられDPT-IPV四種混合になりました。また、ツベルクリン反応検査は省略され、BCGワクチンを直接接種することになりました。これらの他にも、接種時期が延長されたもの、副反応の問題により積極的接種勧奨が差し控えられたものなどがあり、現在の接種方法はとても複雑になっています。

お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください!

予防接種の種類・回数が増えたことで、予防接種のスケジュールについて悩まれる方も多いと思います。学会などでも接種スケジュールのモデルケースを提案していますが、お子さんの体調等により、スケジュール通りに進まないこともよくあります。また、予防接種は、同時接種や任意の予防接種等、受ける方の判断に任されていることも多いため、迷ってし

まうこともあるかと思えます。

皆さんの個々の事情も考慮しながら、予防接種のスケジュールを一緒に考えていただければと思っています。分からないことや悩んだときは、かかりつけの病院の医師や看護師、村の保健センターのスタッフなどへ、お気軽にご相談ください。

村立東海病院 小児科医 川井 伸

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉保険課地域医療担当(☎287-0899)